

中国・上海 第8回日本語作文スピーチコンテスト開催について

公益財団法人小丸交通財団（本社：広島県福山市、理事長：小丸成洋 以下、小丸交通財団）は、5月21日に福山通運本社において、中華人民共和国駐日本国大使館 二等書記官 張 瓊瓊様、在上海日本国総領事館 領事 沼田 真洋様の両氏が来賓としてご臨席のなか、第8回日本語作文スピーチコンテストを開催しました。

このたびのコンテストは、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本と上海をつないでのリモート開催となりましたが、中華人民共和国駐日本国大使館 大使 孔 鉉佑様、在上海日本国総領事館 総領事・大使 赤松 秀一様からビデオメッセージをいただき、上海からは上海外国語大学 院長 高 潔様に列席いただきました。

今回のコンテストは、中国における日本語教育や交通安全意識の向上を図る機運から、8大学59作品の応募があり、「交通」というテーマで予選を通過した8名の学生が、日頃の学習の成果を十分に発揮し、スピーチを披露しました。最優秀賞は「交通機関の発達によって、失ったものとは何か」についてスピーチした、浙江財經大学の鐘 香玲さんが選ばれました。

今回のコンテストを通じて、交通安全意識の向上を図ることを通じて、日本と中国の相互理解をさらに深め、友好関係を強化してまいります。

【参加大学】

江蘇海洋大学、江蘇師範大学、淮陰師範学院、江蘇大学、上海外国語大学、浙江財經大学
上海立信會計金融学院、寧波工程学院

【該当する SDGs の目標】



コンテスト会場のようす



スピーチコンテスト記念撮影